

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる

2 評価の観点及びその趣旨

関心・意欲・態度

国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりするとともに、伝え合おうとする。

話す・聞く能力

自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。

書く能力

自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。

読む能力

自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。

知識・理解

表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。

3 各学年の目標

- (1) 目的や場面に応じ、日常生活にかかわることなどについて構成を工夫して話す能力、話し手の意図を考えながら聞く能力、話題や方向をとらえて話し合う能力を身に付けさせるとともに、話したり聞いたりして考えをまとめようとする態度を育てる。
- (2) 目的や意図に応じ、日常生活にかかわることなどについて、構成を考えて的確に書く能力を身に付けさせるとともに、進んで文章を書いて考えをまとめようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じ、様々な本や文章などを読み、内容や要旨を的確にとらえる能力を身に付けさせるとともに、読書を通してものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

4 指導計画・評価計画表

月	指導計画	評価規準	評価方法
4	【詩】野原はうたう(1) 声を届ける/書き留める/調べる(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の意味を的確にとらえ、理解し、音読することができる。(C(1)ア(2)ア) ・詩のリズムや音の働きについて理解する。(伝(1)イ(ア)) ・話す速度や音量、場に応じた言葉遣いに気をつけて話す。(A(1)ウ) ・日常生活から課題を決め、自分の考えを根拠を明確にして書くことができる。(B(1)ア・ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・音読 ・ワークシート プリント

	<p>【物語】花曇りの向こう(4)</p> <p>【書く】わかりやすく説明しよう(5) 情報を的確に聞き取る(1)</p> <p>《書写》1 楷書の書き方を確かめよう 「漢字の字形」(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文脈の中における語句の意味を的確にとらえ、理解している。(C(1)ア) ・心情の描写に注意して読み、登場人物の心情を理解できる。(C(1)ウ) ・題名のもつ意味について、自分の考えをもつことができる。(C(1)エ) ・日常生活の中から課題を決め、情報を集め自分の考えをまとめることができる。(C(1)ア) ・集めた情報を整理し、分かりやすい構成を考えて書くことができる。(C(1)イ) ・字形を整え、楷書で書くことができる。(伝(2)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題 ・漢字テスト ・提出物 ・定期考査 ・作文
5	<p>【漢字】1 漢字の組み立てと部首(2)</p> <p>【説明】ダイコンは大きな根？(3)</p> <p>《文法》1 言葉の単位 言葉の単位(3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字の組み立てと部首について理解することができる。(伝(1)ウ(ア)(イ)) ・段落の役割に注目して、文章の内容を理解することができる。(C(1)エ) ・筆者の説明の仕方の工夫について、自分の考えをもつことができる。(C(1)エ) ・言葉が、文章、段落、文、文節、単語の単位で分けられることを理解することができる。(伝(1)イ(エ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・ワークシート
6	<p>【情報】情報の集め方を知ろう(2)</p> <p>【言葉】1 話し言葉と書き言葉(2)</p> <p>《文法》2 文の組み立て 文節どうしの関係(3)</p> <p>【詩】詩の世界(2)</p> <p>【言葉】言葉を集めよう(1)</p> <p>【随筆】空を見上げて(2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本やインターネットを用いて情報を集めて読み取り、テーマに対して必要な情報を選択している。(C(1)カ) ・話し言葉と書き言葉について、それぞれの表現上の特質を理解している。(2年伝(1)イ(ア)) ・文節のもつはたらきについて理解することができる。(伝(1)イ(エ)) ・詩の表現から作者の思いに触れている。(C(1)ア) ・詩の情景を想像しながら朗読している。(C(1)エ) ・3編の詩の形や表現の特徴に着目しながら朗読している。(C(2)ア) ・例文の観点を参考にして、多くの言葉を集めて、好きな食べ物についての紹介文を書いている。(B(1)ア) ・「五・七・五」や下の句を読み取り、内容を理解している。(C(1)エ) ・筆者の考えを基に、自分のものの見方や考え方を広げている。(C(1)オ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・発表
7			

	<p>《文法》 2 文の組み立て 連文節 (2) 文の組み立て (1)</p> <p>《書写》 2 楷書に仮名を交えて書こう 「文字の大きさと配列」(4)</p> <p>【物語】 光る地平線(3)</p>	<p>・作者の考えを踏まえて、人の心を動かす言葉について考えをまとめている。(C(1)ア)</p> <p>・文の決まりに関心を持ち、連文節、文の組み立てについて理解しようとしている。(2年伝(1)イ(ウ))</p> <p>・文字の大きさや配列などについて理解して、楷書で書くことができる。(伝(2)ア)</p> <p>・作品に書かれているものの見方や考え方を捉え、自分のものの見方や考え方を広くしている。(C(1)オ)</p>	<p>・作品</p> <p>・ワークシート</p>
8	<p>【読書活動】 私が選んだこの一冊(1)</p> <p>【物語】 星の花が降るころに (5)</p>	<p>・紹介することを意識して作品を読んでいる。(C(1)カ)</p> <p>・場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化と理由について考えている。(C(1)ウ)</p> <p>・「私」「戸部君」「夏美」などの登場人物の心情を押さえ、この後の作品の続きを考えている。(C(1)エ)</p>	<p>・観察</p> <p>・定期考査</p> <p>・漢字テスト</p> <p>・ワークシート</p>
9	<p>【物語】 大人になれなかった弟たちに…… (4)</p> <p>わかりやすい案内文を書く (1)</p> <p>《書写》 2 楷書に仮名を交えて書こう 楷書と仮名のまとめ (2)</p>	<p>・情景や人物描写に着目して登場人物の心情を読み取っている。(C(1)ウ)</p> <p>・表現の特徴や時代背景を押さえ、作者の思いを捉えながら、自分のものの見方を広げている。(C(1)オ)</p> <p>・教材の「案内文の下書き」を基に、項目ごとに整理し、読み手を意識してわかりやすい案内文を書いている。(B(1)エ)</p> <p>・文字の大きさや配列などについて理解して、楷書で書くことができる。(伝(2)ア)</p>	<p>・感想文</p> <p>・課題</p> <p>・定期考査</p> <p>・提出物</p> <p>・作品</p>
10	<p>【記録】 シカの「落ち穂拾い」 —フィールドノートの記録から— (5)</p> <p>【書く】 調べたことを報告しよう(4)</p> <p>【漢字】 2 漢字の音訓 (1)</p>	<p>・事実と意見を読み分け、文章の要旨を捉えている。(C(1)イ)</p> <p>・文章の構成や表現の特徴、小見出しの効果について理解し、自分の考えをまとめている。(C(1)エ)</p> <p>・教科書の例を参考にして、調べたことを整理し、構成を工夫してレポートを書いている。(B(1)イ)</p> <p>・日常生活を振り返って話題を探し、構成を考えてレポートを作成しようとしている。(B(1)ア)</p> <p>・漢字の音・訓に関心を持ち、漢字の理解を深めようとしている。(伝(1)ウ(ア))</p> <p>・<u>例</u>の漢字を基に、漢字の音・訓について理解し、既習の漢字においても音・訓について調べ、語彙を広げている。(伝(1)ウ(イ))</p>	<p>・ワークシート</p> <p>・定期考査</p> <p>・レポート</p> <p>・ワークシート</p>

	<p>【言葉】 2 指示する語句と接続する語句 (2)</p> <p>【古文・音読】 いろは歌(1)</p> <p>【古文・音読】 月に思う (1)</p> <p>【古文】 蓬萊の玉の枝(4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・指示する語句と接続する語句の働きや効果について理解している。(伝(1)イ(エ)) ・「いろは歌」を音読し、現代語訳を参考に内容に親しんでいる。(伝(1)ア(ア)) ・昔の人の季節の感じ方を捉えている。(伝(1)ア(ア)) ・現代の文章とは異なる表現や表記に注意して物語の展開を捉えている。(C(1)ア・エ) ・仮名遣いに注意し、古典特有のリズムを味わいながら音読している。(伝(1)ア(ア)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読 ・ワークシート ・定期考査 ・音読 ・ワークシート ・定期考査
11	<p>【漢文】 今に生きる言葉 (3)</p> <p>【説明】 幻の魚は生きていた(5)</p> <p>流れを踏まえて話し合う (1)</p> <p>【話す・聞く】 話題や方向を捉えて話し合おう(5)</p> <p>感じたことを整理する(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現代語訳を参考にして、故事成語の由来と意味を理解している。(C(1)ア) ・調べた故事成語の中から、自分の体験に関連するものを選び、体験文を書いている。(B(1)ウ) ・文章の要旨を捉えている。(C(1)イ) ・学習を通じて自分の見方や考え方を広げている。(C(1)オ) ・具体的な根拠を挙げて、自分の考え(共感・納得、疑問・反論)を書いている。(B(1)ウ) ・話し合いの話題や方向を捉えて、適切な発言をしている。(A(1)オ) ・日常生活の中から話題を決め、交流を通じて話し合いの材料を集めている。(A(1)ア) ・話し合いの話題や方向を捉え、相手の反応を踏まえて話したり、自分の考えをまとめたりしている。(A(1)オ) ・絵から感じたことや読み取ったことを観点別に整理できている。(B(1)イ・ウ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシート ・定期考査 ・ワークシート ・定期考査 ・発表 ・ワークシート
12	<p>【書く】 根拠を明確して魅力を伝えよう (4)</p> <p>【詩】 竹 (1)</p> <p>《文法》 3 単語の分類 単語の分類 (2) 品詞 (1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠を明確にして、その魅力を伝える文章を書いている。(B(1)ウ) ・書いた文章を互いに読み合い、作品の捉え方や表現のしかたについて意見を述べている。(B(1)オ) ・表現の特徴や効果について、自分なりの考えをまとめている。(C(1)エ) ・表現の特徴に着目しながら早さや間の取り方などを工夫して音読している。(C(2)ア) ・自立語と付属語、活用の有無、品詞について整理し、理解している。(伝(1)イ(エ)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作文

	<p>【ノンフィクション】 桜守三代（1）</p> <p>《書写》 3 行書の書き方を学ぼう 行書の特徴（2） 点画の方向や形の変化（3） 点画の連続（3） 行書の練習1（4）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・描かれている人物の生き方や考え方を捉えている。(C(1)オ) ・漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書くことができる。(伝(2)イ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・作品
1	<p>【小説】 少年の日の思い出(6)</p> <p>【言葉】 3 さまざまな表現技法（2）</p> <p>【漢字】 3 漢字の成り立ち（2）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・場面展開や人物の描写に注意しながら読み，登場人物の心情の移り変わりを捉え，人物のものの見方や考え方について，自分なりに考えている。(C(1)ウ・エ・オ) ・言葉の並べ方の工夫や比喻について，それぞれの表現上の特質などを理解している。(伝(1)イ(オ)) ・漢字の成り立ちについて理解し，練習問題の漢字を分類している。(伝(1)ウ(ア)) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・漢字テスト ・ワークシート プリント ・作文 ・定期考査
2	<p>【書く】 印象深く思いを伝えよう（5）</p> <p>《文法》 3 単語の分類 体言と用言（2）</p> <p>【話す・聞く】 一年間の学びを振り返ろう（4）</p> <p>【書く】 ポスターセッションをしよう（2）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み返し，わかりやすく，印象深いものになっているかを推敲する。(B(1)エ) ・体言と用言について理解している。(伝(1)イ(エ)) ・話の構成を工夫し，聞き手の反応を踏まえながら発表している。(A(1)イ・エ) ・1年間の国語学習の中から題材を選び，分析したことを整理してまとめている。(B(1)ア) 	
3	<p>【詩】 ぼくがここに（2）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の中の語句の意味や表現の特徴を捉え，自分の考えをもっている。(C(1)ア・エ) 	